



慶應義塾

杉並三田会コーラス同好会



ヴ ィ エ ン ト

世話人 木村 恭子 40文

人 員: 女性26名 男性34名 (平成28年12月現在)

指 導: 声楽家 谷口ひとみ先生の指導を受ける

日 時: 基本的に 月2回 日曜日

午前9.30時~12時

場 所: 荻窪地域区民センター

最近の練習曲:

「塾歌」「慶應讃歌」「風(三善晃作曲)4部合唱」
「そこに風がいる」「大地讃頌」「時を超えて」
「夏は来ぬ」「君歌えよ」「乾杯の歌」
「青い山脈」「リンゴの歌」 等々

7月9日 コーラス同好会ヴィエント 〈第5回定期演奏会〉



7月9日(土)14時に三鷹市芸術文化センターにて第5回定期演奏会を開催しましたが、雨の中ほぼ満席に近い方々がご参加下さり、感激致しました。ヴィエントが発足致しまして、来年1月に満10年になりますので、創立10周年記念コンサートも兼ねさせて頂きました。

第1部は「風」をテーマにした曲でございますが、「ヴィエント」の名前を考えられた久津様が、ポール・ヴァレリーの詩の中の「風立ちぬ、いざ生きめやも」を想起したものであり、また同時に、風は葦のような弱い存在にも、その生態を毅然と描いてくれる。又、風には色もなく、匂いもない。でも夢や希望を乗せることが出来る。気持ちを一つにして歌ってみたら、いい風が吹くかもしれないという期待を込めて命名されました。この「風」の歌を、当日の会場「風」のホールで歌うことができたのは、格別の喜びでございました。

第2部は「世界の歌」、第3部は「愛」をテーマにした曲でございましたが、愛を必要とされる時代に、愛に包まれた舞台になるよう念じつつ演奏致しました。

公演に当たり杉並三田会ははじめ多くの方々のご支援とご協力を賜りましたことを、ここに厚く御礼申し上げます。

第5回演奏会 各ステージでの演奏風景

第3部ステージ



2階より天使の声 「Amazing Grace」



熟年会員の 「かあさんの歌」



愛燦燦



ボランティア コーラス

11月12日ヴィエントは、河北病院介護老人保健施設シーダウォークをお訪ねして、初めてボランティアコーラスを行いました。

ホールには100名近くの入所者、職員、付き添いの方たちが集まって下さり1時半よりきっちり1時間ということで始めました。

前半は7月9日のヴィエント定期演奏会で歌った「四季の歌」、「ピクニック」、「愛燦燦」、「アメージング・グレース」、「スタンドアローン」、「大地讃頌」などを歌い、後半は「みかんの花咲く丘」「夕焼け小焼け」「リンゴの歌」「青い山脈」など皆様の耳に良く馴染んだ歌を歌いました。

初めは硬い表情だった方たちも、谷口先生が「笑うことと、声を出すことは大変身体に良いことですよ。皆様どうぞ一緒に歌ってください」と何回も促して、スクリーンに歌詞も映し出されましたので、段々大きな声で楽しそうに歌って下さるようになりました。終わる頃には、大変和やかな雰囲気になり、「今日は楽しかった。また来てください。」との声も聞かれ、お訪ねして本当に良かったと思えました。(了)



12月26日 コーラス同好会ヴィエント

ヴィエントは12月26日荻窪のジュノンで忘年懇親会を開催しました。

今年はヴィエントにとって大きな行事が2つありました。第5回定期演奏会と河北病院老人介護保健施設シーダウォーク訪問ですが、2つともどうにか無事済ませることのできた後の忘年会でしたので、達成感もあり大いに盛り上がりました。

久津さんの乾杯の後、谷口先生に練習会全般にご講評を頂き、懇談に入りました。ヴィエントは芸達者な方が多く次々に歌、楽器、話などご披露して頂き、皆で大いに楽しみました。ベルリンから帰ったばかりの今井さんからは、あのテロの起きた同じ日の昼間クリスマス市場にいらした話など聞かせていただき、皆肝を冷やしました。年が明けますと、第6回定期演奏会の準備が始まります。

中村潤一次期実行委員長の演奏会への抱負など伺いながら一同心を引き締めました。

